

平成 31 年 1 月 27 日

長野県感染対策研究会
代表世話人 本田孝行
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 征矢 佳輔

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2018 年 12 月データについての報告～
(データ集計日：2019 年 1 月 23 日 集計対象施設数：60 施設)

2018 年 12 月の VRSA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。

上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

<MRSA の分離状況について>

長野県全体の分離率は 7.71 %でした。JANIS での全国の実分離率は 6.43 % (2017 年 10 月～12 月 四半期報) であり全国より高い水準です。南信地区では前月に比べ分離率の微増を認め、依然として他の地区に比べ高値となっています。東信地区での分離率の上昇は収まり、その他の地区では先月と比較しほぼ横ばいでした。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

長野県全体で多剤耐性緑膿菌の検出はありませんでした。JANIS での全国の実分離率は 0.04 % (2017 年 10 月～12 月 四半期報) でした。なお、1 件でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

<第三世代セファロsporin耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は 2.86 %でした。南信地区では分離率の微増が認められていますが、その他の地区では前月に比べほぼ横ばいでした。JANIS での全国の実分離率は 2.32 % (2017 年 10 月～12 月 四半期報) でした。JANIS で 2015 年集計分より用いられている第三世代セファロsporin 耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSS での判定基準の方が厳しく設けられているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から 3 例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までお問合せください。

【SICSS のデータを用いた学術活動について】

SICSS のデータを用いて学術活動 (学会発表や論文執筆など) を行う際には、必ず下記担当者までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先 信州大学医学部附属病院 臨床検査部 春日 恵理子 TEL: 0263-37-3493、 e-mail: erika@shinshu-u.ac.jp
